

# 犀川関連事業

平成23年2月21日

中部地方整備局 木曾川上流河川事務所

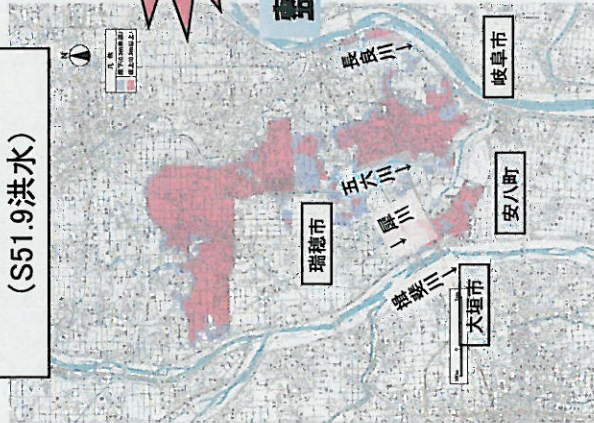
# 事業効果

## 【事業の効果】

昭和26年度に犀川第1排水機場を、昭和40年度に犀川第2排水機場を設置し、犀川流域の内水被害の軽減に努めてきたが、共に設置後30年以上が経過し、機能障害が見受けられることから2つの排水機場の機能を合わせ持つ統合排水機場を新設した。

なお、既設の犀川第1排水機場及び犀川第2排水機場は、堤防の改修計画断面を侵して設置されており、統合排水機場完成後に撤去する予定である。

想定浸水区域  
(S51.9:洪水)



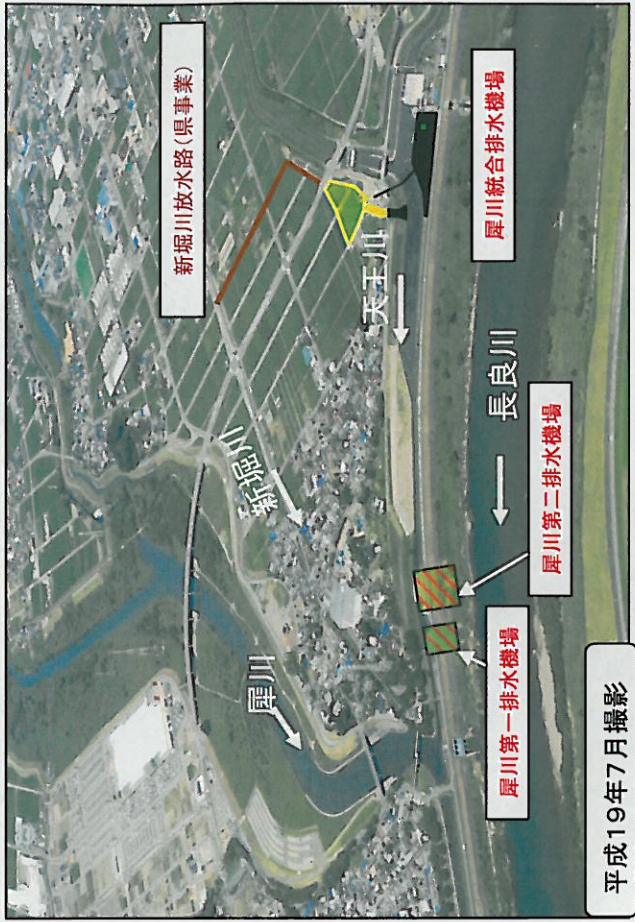
想定浸水区域図  
(統合機場18.4m<sup>3</sup>/s機能回復時)



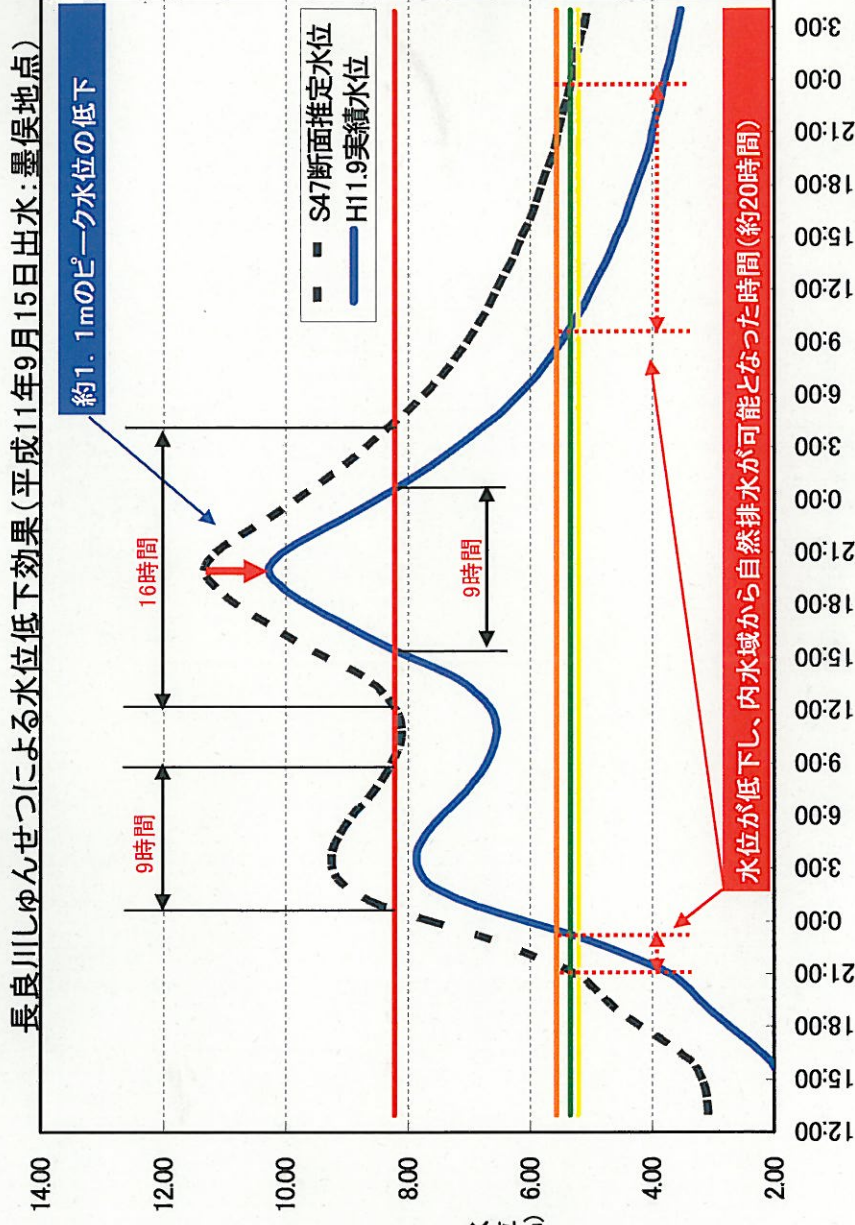
## ＜昭和51年9月洪水の被害状況＞



## ＜事業実施状況＞



# 河道掘削による水位低下の効果(内水排除機能の向上)



- 出水時のピーク水位が低下するとともに、出水時の高い水位での継続時間が短縮される。
- これにより、支川流域からの内水排水について、排水ポンプ等により強制排水しなくても自然排水できる時間が長くなり、内水排除機能が向上する。
- また、出水時の水防活動の目安となる「はん濫注意水位」以上の水位の継続時間が短縮されることにより、水防活動に伴う労力の軽減が図られている。

年月日	出水要因	墨俣地点 ピーク流量	ピーク水位 低下量	はん濫注意水位以上の継続時間	
				しゅんせつ前	しゅんせつ後
平成11年9月15日	台風18号	約5,900m <sup>3</sup> /s	約1.1m	25時間	16時間
平成12年9月12日	台風14号	約4,900m <sup>3</sup> /s	約1.2m	15時間	6時間
平成14年7月10日	台風4号	約4,400m <sup>3</sup> /s	約1.6m	13時間	9時間
平成16年10月21日	台風23号	約8,000m <sup>3</sup> /s	約2.0m	12時間	4時間

※「はん濫注意水位」とは、洪水に際し、水防活動の目安となる水位。はん濫注意水位に達し、なお上昇の恐れがある場合、水防団による堤防の巡視など、水防活動を行う。